

日本学術会議哲学委員会古典精神と未来社会分科会
(第25期・第6回)

議事要旨

日 時：令和4年12月10日(土) 10:45～11:10

場 所：オンライン開催

出席者：芦名、小倉、梶原(幹事)、加藤、佐藤、土屋、中島(委員長)、納富
(副委員長)、吉水(9名)
(欠席) 木村

議題

(1) 前回議事要旨の確認

前回の議事要旨が確認された。

(2) 岩波ジュニア新書の刊行企画について

中島委員長から、9月末までに各委員からの原稿が予定通り揃ったこと、岩波書店の担当者とも打ち合わせつつ目次案を作り始めている段階まできていることの報告がなされ、出版にむけての今後のスケジュールに関する説明が行われた。また、新書の現在の仮題についても、本決定にむけての意見交換がなされた。

(現在の仮題) 『扉をひらく哲学——鍵は古典のなかにある』

(代替案) 『人生の扉をひらく——鍵は古典のなかにある』

(3) ジュニア新書出版後について

中島委員長から、ジュニア新書が5月ごろ(予定)に出版された後、6月以降に、高校生や高校教諭向けのシンポジウム等を開催する可能性について提案がなされ、委員の間で討議がなされた。

(4) その他

ジュニア新書の出版後に次の分科会を開催し、その後の計画の検討を改めて行うこととなった。

以上